



史跡

いわさかよこあなこふんぐん

69. 岩坂横穴古墳群

■指定年月日 昭和34年3月4日(1959)

■所有者 個人

■所在地 岩坂町

珠洲市内には古墳時代後期の横穴墓（横穴古墳）が濃密に分布しており、5地域12支群が発見されている。

・金川中流域：岩坂向林支群（9基）・岩坂塚亀支群（10基）

・岩坂藤瀬山支群（4基）・岡田支群（8基）

・金川下流域：熊谷羽黒山支群（2基）、野々江ハゲノマエ支群（25基）

・若山川中流域：鈴内山岸支群（61基）・鈴内二ノ

谷支群（35基）・経念支群（2基）

・竹中川・般若川下流域：永禅寺支群（3基）・谷

崎支群（11基）

・鵜島地域：南黒丸・鵜島支群（40基）

以上210基が確認されているが、まだかなりの横

穴墓が存在すると考えられている。

岩坂横穴古墳群は、上記3支群23基よりなる。藤瀬山1号横穴墓に、舟や人物などの線刻画がみられるが、横穴墓がつくられた当時のものか、定かではない。また、向林2号横穴墓からは鉄刀や鉄鏝、大量の須恵器が出土しており、市立珠洲焼資料館で保管・展示している。

横穴墓の中には、九州・山陰地方との関連が考えられるものもあり、当時の珠洲と他地域の交流を考えるうえで貴重な遺跡である。